

# 浪江に水素ステーション

## 相双地方初FCV燃料「地産地消」

燃料電池車（FCV）に燃料を供給する水素ステーション「ナミエナジー」が24日、浪江町棚塩に開所した。移動式で、大型トラックからFCVに燃料の水素を供給する。相双地方では初の商用水素ステーションとなる。



福島水素エネルギー研究フィールド（奥）の近くに完成した「ナミエナジー」の開所を祝う相良社長（左）と吉田町長（24日、浪江町棚塩で）

近くにある福島水素エネルギー研究フィールドから

水素を調達する。同研究フ

ィールドでは、太陽光発電

を活用し、二酸化炭素を出

さず、「再生可能エネルギー

由来の水素」を製造して

おり、町内で再生可能エネ

ルギーを地産地消できるよ

うになる。

福島市の会社「ふくしま

ハイドロサプライ」が運営

し、水素1キロを1300円

（税込み）で販売する。

購入には予約が必要になる。

この日の開所式で、同社の相良元章社長は「水素という新しいエネルギーは町の復興の後押しになる」と話し、皆田数博町長は「町民が手軽に水素自動車を利用できるように、水素を地産地消する第一歩となる」と喜んだ。

ステーションの営業は水・木・金曜日（午前10時半～午後3時）。予約は電話024・563・3144で、平日の午前10時～午後5時に受け付けている。